

# 北海道の 学校図書館

発行 北海道学校図書館協会  
 会長 佐藤 正行  
 事務局長 新津 智哉  
<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>  
 印刷所 (株) 有 伸 商 会  
 TEL (011)814-6211

## 第45回北海道学校図書館研究大会苫小牧大会を終えて

◆ ～苫小牧大会に関係する全ての方に感謝～ ◆

苫小牧大会運営副委員長 井村 友美

(苫小牧市立清水小学校長)



9月1日(金)、2日(土)の2日間、全道各地より189名の参加者に参集いただき、第45回北海道学校図書館研究大会苫小牧大会を無事に終了することができました。

大会までの道のりは平坦ではなく、壁にぶつかることが幾度もありました。そのたびに、北海道教育委員会、苫小牧市教育委員会をはじめ多くの関係機関及び北海道学校図書館協会の皆様より多大なご支援・ご指導を賜り、開催できましたことを心より

感謝申し上げます。

思い返すと、2年前にオンライン開催された函館大会からバトンを受け取り、苫小牧大会の本格的な準備が始まりました。しかし、準備委員会を立ち上げたときは、コロナ禍まっただ中。2年後はオンライン開催なのか、集合型開催なのか、交流会は実施できるのかなど大会の開催方法の見通しを全く描けない中、準備委員会を立ち上げることになったのです。いろいろな意見がありましたが、最終的に「集合型での開催」と「交流会の実施」を軸に準備を進めることになりました。

もう一つ、頭を悩ませた問題が苫小牧学校図書館協会会員数の減少です。前回、苫小牧で研究大会が開催されたのは20年前です。20年前は、苫小牧市教育研究会(通称:苫教研)学校図書館教育研究部会が苫小牧学校図書館協会としても活動しており、50名を超える会員が大会運営を支えていました。しかし、母体であった苫教研が令和3年度で廃止されることになったうえ、コロナ禍で集合型研修ができないため、運営に携わる人を集めることがさらに難しくなっていました。その結果、今大会は少人数での運営を余儀なくされたのです。

このような中、お力添えをいただいたのが、苫小牧市内の幼稚園、小学校、中学校、白老東高等学校の皆様です。授業者及び提言者が決定されない状況が続きましたが、最終的には、幼稚園から中学校までの公開授業、小学校から高等学校までの提言発表を実現させることができました。そのほかにも、記録者、助言者まで快く引き受けていただいた学校もあります。このご協力により、研究体制を整えることができました。

本研究大会当日は、研究主題を「子どもたちの確かな学びと豊かな心を育てる学校図書館～チーム読書! 多様な学び・ひろがる心～」として、苫小牧の取組や実践を数多く発信させていただくとともに、たくさんの方の学びを学ぶ貴重な機会となりました。また、集合型研修でしか味わえない、全道各地のすばらしい実践を本研究大会でライブ交流できましたことを大変うれしく思います。加えて、1日目の交流会には53名の参加があり、食事をしながら各テーブルで学校図書館教育についての様々な交流があり、楽しいひとときを過ごすことができました。「集合型での開催」「交流会の実施」を通して、人と人とのつながりの大切さを痛感しました。

本研究大会を推進するにあたり、ご指導・ご助言いただきました全ての皆様への感謝の思いを重ねて申し上げますとともに、次期開催地である帯広大会で再会できることを楽しみにしています。本研究大会に関わった皆様、本当にありがとうございました。

## ●第45回北海道学校図書館研究大会苫小牧大会に参加して

## 「情報社会を生き抜く力」

苫小牧市立澄川小学校 教諭 中山花紅

この度、北海道学校図書館研究大会苫小牧大会に参加し、初めての公開授業という、とても貴重な体験をさせていただきました。先生方や学校司書の方々にご助言をいただき、授業を行うことができ、大変感謝しております。

公開授業は小学1年生の国語科「うみのかくれんぼ」の学習を行いました。教科書で「なにが、どこに、どのように」隠れているか学んだ後に、本から「なにが、どこで、どのように」隠れているかを探し、かくれんぼ図鑑を作るという単元を構想しました。

本時は本から「なにが、どこで、どのように」隠れているかを探す授業をしました。場の設定として、同じ出版社のシリーズ本がクラス1人1冊渡すよう確保する必要があり、近隣の小学校や、苫小牧市立中央図書館からも本を借りて図書資料を準備しました。

今回の授業を経て、子どもたちが知りたいこと・調べたいことがあれば、図書館に行って本や図鑑から情報を探せばよいという経験ができたことは、とても大きな収穫だと思っています。本時のような調べ学習では、本から探す方法以外にもインターネットで検索する方法もあります。しかし、インターネットで情報を得る場合には自分が調べた情報が正しいものであるのか精査する必要があります。精査する力は低学年で行う本で調べる学習によって養えるのではないかと考えます。将来、この情報社会を生きる上で大切な力につながる第一歩として今回の授業を行うことができうれしく思います。また、子どもたちが本には正しい情報が載っているということや、興味を持ったことを深く知ることができるという本の素晴らしさに触れる機会であったと思います。これらの経験を積み重ね、情報を精査する力をつけていき、この情報社会で正しい判断ができる力を身に付け、たくさんの知識を得て大きく羽ばたいてほしいと願っています。

今回、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



## ●第45回北海道学校図書館研究大会苫小牧大会に参加して

## 「本は、心の栄養」

帯広市立大空学園義務教育学校 副校長 奥山志穂子

私にとって初めての学校図書館研究大会、久々の苫小牧にわくわくしておりました。ここ数年で当たり前になったオンライン研修の良さも当然に実感しておりますが、時間をかけて移動し、新鮮な空気を感じながら他校の門をくぐり、校内の工夫された掲示物に足を止めたり、笑顔の子どもたちとあいさつを交わしたり、各地の参加者とざっくばらんに交流できる参集型の嬉しさを感じながら、学びを深めることができました。

授業、分科会Ⅰ・Ⅱは、「中高読書センター」に参加しました。授業、提言ともに、子どもの実態や学校図書館の状況を把握し、学習指導要領に基づき子どもたちの主体的で継続的な読書活動につながるよう、学校司書や公立図書館と連携した実践の発表でした。活発な協議から、「豊かな心や人間性を育む読書指導」の充実のためには、私たち大人もまた心にゆとりをもって本と向き合い、豊かな時間を過ごすことの必要性も感じたところです。

セッション5「おはなしオルゴール」のストーリーテリングは、言葉の力と表現することの素晴らしさにあふれ、物語の世界にぐんぐん引き込まれていきました。物語を共有することで、語り手の方や参加したみなさんとの心がつながっていくような感覚でした。

内沼晋太郎氏のご講演からは、新たなスタイルの本と人との関わり方やその可能性に心弾みました。本、ビール、スイーツの魅力に魅了されている一人として、早速帰り道に東開文化交流サロンに立ち寄りました。木のぬくもりあふれる気持ちのよい空間の中、様々な世代の人たちが様々な過ごし方をしている姿がありました。パフェも最高でした。

今回の苫小牧大会から、本と人がつながり、本を介して人と人がつながり広がることは、互いの心がより豊かになるというwell-beingの視点と重なることを感じ、子どもの頃の記憶とともに、図書館に貼られていた「本は、心の栄養」という言葉がよみがえりました。

次回は、帯広大会です。苫小牧大会同様、参加される皆様の心が元気になる豊かな学びの機会になればと思いながら準備を進めていきます。ありがとうございました。



2023年度(令和5年度) 北海道の先生がおすすめる本

# 北海道指定図書



## 小学校低学年の部(1・2年)



### がっこうにまにあわない

ザ・キャビンカンパニー/作・絵  
あかね書房 1,650円(税込)  
不思議な世界をひたすら突っ走る。今日は学校に遅れちゃいけないわけがあるのだ。スピード感とスリルでドキドキの話!



### うみべのおはなし 3にんぐみ

ジェイムズ・マーシャル/作 小宮 由/訳  
大日本図書 1,540円(税込)  
なかよしの3人組が、自分の考えたお話を順番にしていくなりに...!? 予想を超えた展開が面白い! ユーモアよみもの



### イライラのあらし

ルイズ・グレッグ/作 ジュリア・サルダ/絵  
吉井 知代子/訳 金の星社 1,540円(税込)  
"イライラのあらし"がきたらどうしたらいいの!? どんどんふくらんでいくイライラと、じょうずにつきあいます。



### いのちが かえっていくところ

最上 一平/作 伊藤 秀男/絵  
葦心社 1,430円(税込)  
自分で釣りあげたイワナを食べる事になったたもん。釣りを通じて命の躍動と重さを実感する少年の姿を描きます。

## 中学校の部



### マスクと黒板

滝野 京子/作  
講談社 1,540円(税込)  
休校明けの生徒たちの前に見事な黒板アートが。誰が描いたのか? コロナから「ふつう」をとりもどす中学生たちの物語。



### スクラッチ

歌代 朝/作  
あかね書房 1,650円(税込)  
コロナ禍で黒く塗りつぶされた中三の夏。その中でもがきながら自分らしい生き方を掴み取る中学生たちの"爪痕"を描く。

## 小学校中学年の部(3・4年)



### はじめましてのダンネバード

工藤 純子/作 マコカワイ/絵  
くもん出版 1,540円(税込)  
「相手の気持ちに立って想像すること」や「多様性を尊重すること」の大切さを伝える、くもんの創作児童文学です。



### バスが来ましたよ

由美村 嬉々/文 松本 春野/絵  
アリス館 1,540円(税込)  
全盲の男性が小学生に助けられて続けた、バス通勤。「バスが来ましたよ」の声は受け継がれ...小さな親切のリレーの物語。



### 貝のふしぎ発見記

武田 晋一/写真・文 福田 宏/監修  
少年写真新聞社 1,980円(税込)  
貝の正体は軟体動物! タコやイカも、ウミウシやカタツムリもみんな仲間。ふしぎな生き方を探ると驚きの連続です。

## 小学校高学年の部(5・6年)



### 父さんのゾウ

ピーター・カーナバス/作 美馬 しょうこ/訳  
文研出版 1,540円(税込)  
オリーブは母が亡くなり、父さんは悲しみにくれている。そのそばにはいつもゾウがいる。ゾウを消したいオリーブは...



### たぶんみんなは知らないこと

福田 隆浩/作 しんや ゆう子/イラスト  
講談社 1,540円(税込)  
知的障がいのある小五の女の子と兄の物語。人々の優しさを生かす力に変えて、沖繩戦を生き抜いたひめゆり学徒のももちゃん。その半生を描いたノンフィクションです。



### ももちゃんのピアノ 沖繩戦・ひめゆり学徒の物語

柴田 昌平/文 阿部 結/絵  
ポプラ社 1,650円(税込)  
音楽を生かす力に変えて、沖繩戦を生き抜いたひめゆり学徒のももちゃん。その半生を描いたノンフィクションです。



## 北海道の本を読みましょう!

第69回 青少年読書感想文全道コンクール 第49回 北海道指定図書読書感想文コンクール

■主催/北海道学校図書館協会・毎日新聞社北海道支社  
■後援/北海道・北海道議会・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会 ■選定協力/北海道読書推進運動協議会

感想文は夏休み明けに、学校に出してください。詳しくは、「応募のきまり」をご覧ください。 ●ホームページ 北海道学校図書館協会 検索



## ●第45回北海道学校図書館研究大会苦小牧大会に参加して

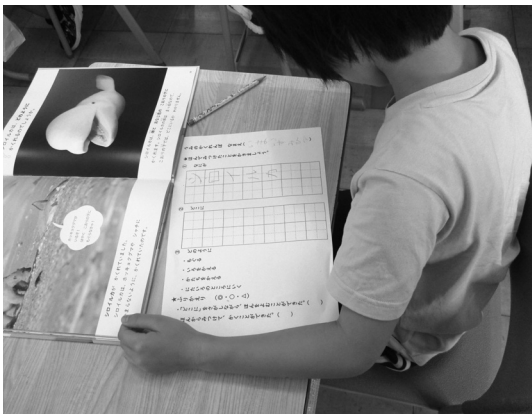
**若手の力と、ベテランとの協働**

千歳市立末広小学校 坂井 亮一

この度の北海道学校図書館研究大会は、20年ぶりの苦小牧市での開催であり、楽しみに参加させていただきました。初日は、澄川小学校1年生の資料活用の授業を参観させていただきました。教科書で読んだ内容を基に、実践的に自分の読んだ本と照らし合わせて、「自分の生き物かくれんぼ図鑑」を作っていく流れの学習でした。

今の指導要領でも、学習を活用する力、単元を見通して「つけさせたい力」を意識した単元構成がなされている中、自分の学んだ内容をいかに自分の読書に生かせるか1年生ながら頑張っていて、ほほえましい時間でした。

分科会①では、授業者からの振り返りや、この単元を進めるにあたり、全員が同じ出版社の本で学べるように数校から同じ本を集めて準備した学校司書さんの力も大きく、チームでの教材研究について聞くことができました。また、似たような内容を取り扱っている出版社の本を読み比べて教材研究をしてきたことなど、授業づくりから苦小牧市の学校図書館をとりまく環境が恵まれていることを聞きました。また、参加していた学校司書さんからは、苦小牧の現状と学校司書同士の連携、中央図書館との関わりなどの話があり、充実した時間を過ごしました。



今回の授業者には若手が多く、またその若手を支えるベテランが各所におり、色々な検討を踏まえて授業づくりを行った苦小牧学校図書館協会の層の厚さを感じました。

二日目のセッションでは、苦小牧読み聞かせ文庫連絡会の谷口さんの話を拝聴しました。たくさんの文庫が生まれ、それらをつなぐ目的から始まった連絡会も、今年で創立30年を迎えたそうです。各学校に入り、読み聞かせやブラックライト公演など積極的に活動されていると聞きました。また、絵本の紹介とともに、その絵本が生まれてきた歴史的背景など、絵本の背景となる話もとても良く、素敵な時間を過ごさせていただきました。

元気をもらい、自分の実践につなげていきたいと感じました。

## ●第45回北海道学校図書館研究大会苦小牧大会に参加して

**図書館の役割を再認識**

～つながりを意識して～

帯広市立西陵中学校 校長 嶋 健

「子どもたちの確かな学びと豊かな心を育てる学校図書館～チーム読書！多様な学び・ひろがる心～」を研究主題に開催された、第45回北海道学校図書館研究大会苦小牧大会へ参加しての感想を述べさせていただきます。

大会全体を通じて、北海道の学校図書館関係者が情熱的で結束力のあるコミュニティを形成していることに感銘を受けました。地域と学校を繋ぎ、子どもたちの教育に尽力し、情報提供とアイデアの共有が行われていることが素晴らしいと思いました。そして、分科会やセッション、講演を通じて、学校図書館の役割が変化し続けていることを実感しました。デジタル化の進展や情報の多様化に直面しながらも、学校図書館は情報リテラシーの育成や読書文化の促進に貢献する重要な拠点であることを再確認しました。

また、交流会の場でも多くの学びと刺激を受けました。全道から集った、図書館関係者との知識の共有と新たな発見の場でした。コロナ禍でここ数年間、あのような会へは参加はできませんでした。今回はとても有意義で、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。苦小牧大会役員の方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。

最後に、次期開催地帯広市の状況を報告します。帯広市は2021年4月1日から新たに「帯広市電子図書館」を開設しました。2万4千冊以上の電子書籍、オーディオブックなどのコンテンツを提供しており、さまざまな年齢層や関心を持つ人々に対応しています。図書館のウェブサイトや専用のアプリを通じて、24時間365日いつでもアクセスできます。利用については、図書館カードを取得した帯広市民は、無料で利用できます。また、貸出期限が終了すると自動返却されるので返却を忘れることがありません。学校では一人一台端末が貸与されていますので、授業等でも利用可能です。

2025年(令和7年)第46回北海道学校図書館研究会帯広・十勝大会へ向けて、鈴木運営委員長を中心に準備を進めて参ります。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。よろしくお願いいたします。

## 第35回読書感想画コンクール・第11回全道コンクール募集要項

- 1 主催 公益社団法人全国学校図書館協議会 毎日新聞社 北海道学校図書館協会
- 2 後援 北海道・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会・北海道読書推進運動協議会・北海道国語教育連盟・北海道造形教育連盟
- 3 対象図書 (1) 自由読書(推薦「北海道青少年のための200冊」)(2) 指定読書(主催者が指定した図書) 上記の中から本を選び、その読後感を感想画で表現する。
- 4 応募締切 **2023年(令和5年)12月25日(月)**
- 5 応募資格 北海道内の小学校・中学校・高等学校に在学する児童生徒 満20歳以下に限る。(2003年4月2日以降出生)
- 6 作品規定 ※感想画用紙は、画用紙・ケント紙・キャンバスボード・マニラ紙・ボール紙いずれでも可。(ワク貼りキャンバスや木製パネルなど厚みのある作品は不可) 作品の寸法は、36cm×25cm以上で、55cm×40cm以下(8つ切～4つ切)とする。 ※画材は、クレヨン・パステル・水彩・油絵具など自由。版画・はり絵も可。(ただし、立体など厚みのあるものを貼付した作品及び破損しやすい作品は審査の対象としない。) ※作品の裏面に、応募票・作画感想(200字以内)を貼付すること。(用紙は中央コンクール応募要項のものを使用) ※作画感想は原則として自筆とする。 ※募集要項に合わないもの、読んだ本にある絵をまねたもの、ポスター・映画・DVD等の場面をまねたもの、コンピュータグラフィックス(CG)の作品、盗作や不適切な引用等があった場合は審査の対象としない。作品は、個人のオリジナルで未発表の作品であること。
- 7 応募に当たって ※一人で自由読書・指定読書それぞれ各1点応募できる。 ※応募作品の著作権・出版権は主催者に帰属し、原則として作品の返却はしない。 ※作品は必ず在籍校に提出し、学校単位で応募すること。
- 8 応募先 ☎060-8643 札幌市中央区北4条西6丁目1 毎日新聞社北海道支社 『第35回読書感想画コンクール・第11回全道コンクール』係 電話011-281-5252 FAX011-251-3551
- 9 審査 主催者が委嘱した審査委員により行う。
- 10 審査区分 ①小学校低学年(1・2・3年)の部 ②小学校高学年(4・5・6年)の部 ③中学校の部 ④高等学校の部
- 11 賞 1) 個人賞 ①最優秀賞 ②優秀賞 ③優良賞 ④奨励賞 2) 学校賞～上記の①②③を受賞した児童生徒の在籍校の中で優秀と認められる学校 ※各部上位各4点(自由2点・指定2点)、合計16点を北海道代表作品として中央コンクールに提出する。 ※入賞発表は、毎日新聞紙面にて行う。(2月上旬予定)

	◎指定図書(書名)	著者名	出版社	価格(税込)
小学校 低学年	おにのしょうがっこう	山田 マチ(作) 岡本 よしろう(絵)	あかね書房	1,320円
	かがみのなかのボクとぼく	あんず ゆき(作) くすはら 順子(絵)	文研出版	1,320円
	どなたでもどうぞ! :バレンタインさんのホテルのおはなし	サム・シャーランド(さく) ふくもと ゆきこ(やく)	B L 出版	1,760円
小学校 高学年	イライラのあらし	ルイーザ・グレッグ(作) ジュリア・サルダ(絵) 吉井 知代子(訳)	金の星社	1,540円
	ぐうたら魔女ホーライ来る!	柏葉 幸子(作) 長田 恵子(絵)	理論社	1,650円
	じいちゃんの島は宝島	漆原 智良(作) やまなか ももこ(絵)	フレーベル館	1,430円
中学校 ・ 高等学校	ココチン:草原の姫、海原をゆく	佐和 みずえ(作) トミイ マサコ(絵)	静山社	1,540円
	ブックキャット :ネコのないしょの仕事!	ポリー・フェイバー(作) クララ・ヴリアミー(絵) 長友 恵子(訳)	徳間書店	1,870円
	手で見るぼくの世界は	樫崎 茜(作)	くもん出版	1,540円
中学校 ・ 高等学校	母の国、父の国	小手鞠 るい(著)	さ・え・ら書房	1,650円
	シタマチ・レイクサイド・ロード	濱野 京子(作)	ポプラ社	1,650円
	パップという名の犬	ジル・ルイス(作) さくま ゆみこ(訳)	評論社	1,760円
中学校 ・ 高等学校	ラスト・チェリー・ブロッサム :わたしのヒロシマ	キャサリン・バーキンショー(作) 吉井 知代子(訳)	ほるぷ出版	1,650円

## ■第55回北海道学校図書館研修講座に参加して

**学校図書館に関わる人たちの熱量をチャージ**

札幌市立屯田北中学校 学校司書 大山 真奈美

毎年正月休み明けのこの講座で襟を正し、今年一年がんばろうという気持ちになる。久しぶりにリアル開催が叶い、一層その威力を感じた。

図書館の教育的活用や学校司書の認知度を上げるという重責を担いながら、パートタイムという立場でできることの限界から存在意義を見失うような気持ちになる時もある。だからこそ、研修講座で知見を広げ、何ができるのかを考えていくモチベーションが常に必要だと思う。共通講座『民主主義社会と学校図書館—「図書館の自由に関する宣言」と関連して』では、渡邊重夫先生が語る歴史と事実の見解に、改めて学校図書館の持つ大きな役割を再認識し、熱い激励に思えてぐっときた。教職員にも渡邊先生の話聞いてもらい、図書館を使った教育の可能性が広まってほしい。

『楽しく進める情報活用能力の育成指導』の佐藤敬子先生の指導で、学びの体系表と突き合わせて国語の教科書を読み込んだ。教育に寄与するためにも、やはり教科書は見たいと感じた。

『プロに学ぶ伝え方のコツ』では“声を作るのではなく、響かせる体を作る”と学んだ。講師の萬崎由美子さんの美しい姿勢から、仕事に自信を持って立ち振る舞いは、信頼に足る印象を与えると感じ、背筋が伸びた。心がけたい。

『学校図書館と一人一台端末』の浅村麻姫子先生の先導による交流で、現在の端末普及の各地域の様子や、ちがう立場からの目線を知る機会を得られた。

校種別選抜講座『図書館資料の活用とその指導～中・高等学校』では小笠原太郎先生の実践を興味深く聞いた。事情で討議に参加できず大変心残り。コロナ禍とインターネット使用の普及で図書館資料を使った授業が激減したと感じる今、アナログ資料とデジタル資料の特徴と問題、それを活かすための図書館からの発信のヒントが盛りだくさんであった。今後もこのテーマの講座の継続を望む。

以前、“研修を受けても、現状では活かせない”という無力感に駆られ、参加を見送ろうとしたことがあった。その時に、本講座の事務局として尽力されている学校司書仲間に「そうだね、そんな気持ちになる時もあるよね。」「気晴らしのつもりで、いい話が聞けたらラッキーくらいで。」と、気を楽にしてもらい、「小さな事でも、取り入れられることはなんだろう？」という前向きな気持ちで受講できた。以来、迷うことはないが、もしそういう気持ちになっている学校司書がいたら私もそう励ましたい。子どもたちの学ぶ力の向上につながる理想の学校図書館づくりへのエネルギーチャージ、そんな貴重な本講座に今年も感謝する。

## ■第55回北海道学校図書館研修講座に参加して

**情熱を感じた充実の2日間～「人」の力があってこそ**

恵庭市立和光小学校 学校司書 田中 咲子

昨年度はオンラインでの参加で、直接対面の講座は初めての参加でした。1月の外の寒さが気にならないくらい先生方の図書館への情熱を感じた充実の2日間でした。

1日目午後「アニメーション」。「かちかち山」の火打石の実体験や「はらべこあおむし」のダウトを探せ…ああ、楽しい。本を読んで確認したくなる。「アニメーションとは本に向かってきて、読みたくなるようにさせる」とはその通りでした。

2日目午前「レファレンス」では、教育活動を把握しておくことの重要性や、多様なレファレンスブックやWeb情報源を知ることができました。さらに講座を受けられた道内各地の方々との交流も大きな糧となりました。

2日目午後「読書指導」と「情報活用能力の育成指導」では、授業の中の読書活動や指導の実践例を挙げていただき、とても興味深い講義でした。子どもたちが自発的に授業に取り組む様子を、先生方の声掛けひとつで豊かな読書を育む授業になるのだ、ということがわかりました。

講義を通して感じたことは、学校図書館を作るには本だけがあればいいわけではなく、そこには「人」の力があってこそだと感じました。2日目の午後「情報活用能力の育成指導」講師の井上陽子先生は、わが校の司書教諭ですが、時間を作って学校図書館へアドバイスやリスペクトをしてくださいます。きめ細やかに対応してくださる司書教諭との連携、これが何より学校図書館の充実につながっているのだと改めて思いました。自分が恵まれた環境にあることに感謝するとともに「読書・学習センター」として、心豊かな人間性と情報活用できる力を育む場所とするため、自分自身のスキルアップが必要であると強く思いました。

ここ数年一人1台のタブレット端末導入により、授業での学校図書館活用が少なくなってきたのではないかと焦りもありますが、これからは本・タブレット双方の利点を活かした授業を担えるような学校図書館作りに取り組んでいけるよう、今回の研修講座で学んだことを活かしていきたいと思えます。

この度は講師ならびに北海道図書館協会の皆様には、学校図書館への温かな学びの講座を設けていただき、心より感謝いたします。



# 第56回北海道学校図書館研修講座へのご案内

主催	●北海道学校図書館協会	参加資格	●学校図書館及び読書指導・情報活用能力の育成に関わっている方ならどなたでも参加できます。
後援	●北海道教育委員会 札幌市教育委員会	定員	●150名 ※定員のある選択講座は先着順で受付します。
趣旨	●学校図書館の運営及び情報活用能力の育成、並びに読書指導に関する基本的事項について理解を深めるとともに、学校図書館の目指す方向と役割についての見識を深め、学校図書館の機能の向上を図ることを目的とします。	参加費	●4,000円
日時	●2024年(令和6年)1月9日(火)～11日(木)	参加申込	●参加ご希望の方は、12月1日(金)～18日(月)の期間に、イベント申し込みサービスPeatixでお申し込みください。
会場	●北海道立道民活動センター(かでの2・7) 札幌市中央区北2条西7丁目 ☎(011)204-5100 ●札幌市立山鼻南小学校 ●札幌聖心女子学院中学校・高等学校	URL	● <a href="https://56douslakensyu.peatix.com">https://56douslakensyu.peatix.com</a> ●さらに詳しい内容は、別紙の開催要項案内(11月下旬に本会ホームページにも掲載)をご覧ください。



### A. 共通講座

講演 「GIGAスクール時代の学校図書館を考える」  
専修大学文学部 教授 野口 武 悟氏

### B. 選択講座；ファーストコース

1. 講義 「管理・運営」  
(公社)全国学校図書館協議会 学校図書館スーパーバイザー 野村 邦重氏
2. 講義 「図書館活動」  
札幌市立栄町中学校 学校司書 児玉 優子氏
3. 講義 「読書指導」  
札幌市立北郷小学校 司書教諭 山田 佳子氏
4. 講義 「情報活用能力の育成指導」  
恵庭市立和光小学校 司書教諭 井上 陽子氏

### C. 選択講座；ステップアップコース

1. 講義・実習 「楽しく進める情報活用能力の育成指導2023」  
(公社)全国学校図書館協議会 学校図書館スーパーバイザー 佐藤 敬子氏
2. 講義・実習 「ステップアップ・読書アニメーション」  
北海道教育大学 非常勤講師 佐藤 広也氏
3. 講義・実習 「プロに学ぶ伝え方の骨(コツ)・声のかへ声は人格を表します～」  
Office Manzaki代表・声とことば塾主宰(アナウンサー・音声言語指導者) 萬崎 由美子氏
4. 講義・実習 「読書会をやってみましょう」  
北海道七飯高等学校 司書教諭 加藤 孝志氏

### 5. 講義・実習 「一日まるごとクリニック」

元旭川市立中学校 司書教諭 加藤 直子氏

### 6. 講義・実習 「今こそ、学校図書館でレファレンスを！」

札幌聖心女子学院中学校・高等学校 司書 新田 裕子氏

### 7. 講義・実習 「学校図書館とICT」

北海道教育大学附属札幌中学校 教諭 小笠原 太郎氏

### D. 校種別選択講座

1. 討議 「図書館資料の活用とその指導～小学校」  
帯広市立栄小学校 教諭 平野 有子氏
2. 討議 「図書館資料の活用とその指導～中学校・高等学校」  
札幌龍谷学園高等学校 教諭 吉本 拓郎氏
3. 討議 「図書館資料の活用とその指導～特別支援」  
札幌市立稲積中学校 教諭 松澤 真凜氏

### F. 指導者研修講座(第60回全道研究部長会)

1. 第45回北海道学校図書館研究大会(苫小牧大会)反省
  2. 支部研究交流 各支部研究部長
- 北海道学校図書館協会研究部長 山田 佳子(札幌市立北郷小学校 司書教諭)  
北海道学校図書館協会事務局長 新津 智哉(札幌市立西陵中学校 校長)

## ～研修日程～

### 1月9日(火)〈かでの2・7〉

9:30	10:00	10:25	12:00	13:15	15:45
受付	開講式	A. 講演	昼食	B1. 管理・運営	B2. 図書館活動
				C1. 情報活用能力の育成指導 2023	
				C2. アニメーション	
				F1. 研究部長会	

※受付は4F大会議室で行います。直接お越しください。※9日午後以降の本部は、10階 1050 会議室です。

### 1月10日(水)〈かでの2・7、札幌市立山鼻南小学校、札幌聖心女子学院〉

9:30	12:00	13:15	15:45	17:00
C3. 伝え方	昼食	B3. 読書指導	B4. 情報活用能力	懇親会
C4. 読書会		C7. 図書館活用と ICT		
C5. クリニック ※山鼻南小		C5. クリニック ※山鼻南小		
C6. レファレンス ※札幌聖心女子学院		C6. レファレンス ※札幌聖心女子学院		
F2. 研究部長会				

懇親会は、本の話や図書館の悩みなどを気軽に話し合える場になりたいと思います。たくさんの参加をお待ちしています。

### 1月11日(木)〈かでの2・7〉

9:30	11:30	11:50
D1. 討議<小>	閉講式	
D2. 討議<中・高>	閉講式	
D3. 討議<特別>	閉講式	

できるだけ、メール、またはFAXでの問い合わせにご協力ください。  
 問い合わせ先 浅村 麻姫子 メールアドレス: hokkaidosla2021@gmail.com  
 FAX: 011-681-7453 (札幌市立手稲中学校)

## 学校図書館情報

### ■第77回読書週間 [公益社団法人読書推進協議会]



今年度の標語は、「私のペースで しおりは進む」です。標語の作者である藤村伸子さんは、「しおりがなかなか進まない本もあれば、一気に読んでしまう本もあり、読み終えればどちらも、充実感や感動を得ることができます。これからも心に残る物語との出会いを求めて、私のペースで読書を楽しみたいと思います。」と述べています。

また、ポスターの作者 鈴木初奈さんは、「すいすいと読み進める時も、じっくりと読み解いていく時も、ページを1枚1枚めくるたびに新しい世界が広がっていくわくわく感。お気に入りのしおりと共に、良い読書体験が皆さまと共にありますように。」と述べています。

読書週間に機に、わくわく感や感動、充実感など読書から得られる素晴らしさについて、改めて子どもたちに伝えていきたいものです。

### ■読書感想文コンクール・中学生作文コンクールの審査が行われています

両審査に関わり、各支部の審査員の皆様にはご尽力いただきましてありがとうございます。中学生作文コンクールへの応募数が大きく伸びています。今年度も各表彰式にて、子どもたちの晴れやかな姿に立ち会えることを楽しみにしています。

### ■第35回読書感想画コンクール・第11回全道コンクール⇒募集締切12月25日(金)

全道の小中高等学校・特別支援学校に向けて要項を送っております。学校関係者の皆様には、応募への働きかけをお願いいたします。また、その際には、「自由読書」に令和5年度「北海道青少年のための200冊」を是非お薦めくださるようお願いいたします。

### ■第63回北海道図書館大会

9月7日、8日に北海道立道民活動センター かでる2・7で開催されました。北海道学校図書館協会が担当した第5分科会では、公共図書館と学校図書館との連携をテーマに、恵庭市、美瑛町、帯広市の取組について事例紹介をいただきました。司書も司書教諭もそれぞれの専門性を生かして、学校図書館、公共図書館の双方にとってメリットのある連携をしていけるよう今後も連携を深めていきたいものです。

### ■ホームページ 学校図書館の活用資料コーナー

トップページにある学校図書館の活用資料のコーナーには、「学習に役立つサイト」「困ったときにはこれを読め」「こんなときは、この本で」等のコーナーがあります。是非ご利用ください。

## 事務局

事務局長 新津 智 哉 (札幌市立西陵中学校校長)

事務局校 札幌市立西陵中学校

〒063-0835 札幌市西区発寒15条2丁目5-1

TEL 011-662-9323 FAX 011-661-3729

## Amenity B-Coat

本の破損や汚れを防ぎながら、抗菌効果を発揮するブックカバー「アメニティBコート」ポリプロピレンフィルムのため、燃焼時にも塩素ガスなど有害物質が発生せず、安心です。ご指定の上ご愛用下さい。

### キハラ株式会社

〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条3丁目8-15

TEL (011) 857-3331

FAX (011) 857-5211

### ◆新刊紹介

#### 『夢見る「電子図書館」』

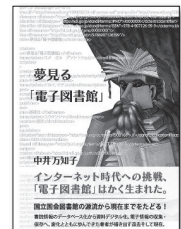
中井万知子 (著/文)

発行：郵研社

価格 2,500円＋税

初版年月日 2023年9月

ISBN 978-4-907126-59-9



インターネット時代への挑戦、「電子図書館」はかく生まれた。

日本唯一の国立図書館、国立国会図書館 (NDL) がいかに電子図書館サービスを構想し、実現してきたのか。

国立国会図書館の源流から現在までをたどる！

書誌情報のデータベースから資料デジタル化、電子情報の収集・保存へ、変化とともに歩んできた著者が描き出す過去そして現在。

## 編集後記

第45回北海道学校図書館研究大会 苫小牧大会が盛会のように幕を閉じました。幼、小、中、高それぞれの校種からの公開授業や提言、セッションや記念講演も大変充実していました。久しぶりのリアル開催となり、全道各地からお集まりの皆様も懐かしい顔ぶれとの再会に話はずみ有意義な時間を過ごされたようです。

コロナの時代を挟んで運営のノウハウが途切れがちなか中であって、公開授業や提言、交流会にいたるまで心のこもった運営に尽力いただいた苫小牧支部の皆様から感謝いたします。

(編集：村山 知成 野村 邦重)  
大久保 雅人 新津 智哉

ホームページアドレス

<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>